

広島経済レポート

1951年創刊

3月23日号

毎週木曜日発行

月間購読料1,620円
(1,500円+税・送料込)

限界集落地に就労支援事業所 障害者の農業従事を後押し

百人邑

情報サービスな
どの(社)百人邑(中
区八丁堀3-1-1、
竹添憲治代表理
事)は、中山間地
域の限界集落地へ
の就労支援を本格
化する。安佐北区
安佐町飯室2-1-2
6に古民家を活用
した就労継続A型
事業所を開設し、
障害者の受け入れ
を始めた。就労希
望者と後継者不足
に悩む農家をマッ
チングすることで
集落地の活性化を図るほか、データ人
力業務やホームページ作成の事業受
託などで障害者の賃金アップにもつ
なげる。

就労事業所「つなげよう。農ある
暮らしとICT。」を16年10月に開
設。現在、里山農家3戸の耕作放棄
地約2000平方メートルを整備し、赤大根
等の野菜のほか、トウモロコシ、サイコな
どの薬草を試験栽培している。数年
をめどに、周辺の農家全18戸分の1
万平方メートルに広げる計画。同地区を
薬用作物の産地とし、人が集まる
里山を目指す。仕事の重圧や人間関
係などで精神障害を患った人に、自
然や農作業を通じリフレッシュして
もらうことで、一般企業への職場復
帰なども後押しする。

障害者の賃金アップへ、名簿作成
や各種データ入力、アンケートの集
計業務などのほか、ホームページ作
成、運営などを請け負う。企業や教
育・医療機関などの需要を想定。今
後も専門家による技術指導でスキル
アップを図り、幅広い業務に対応で
きるようにする。同事業は市民ファ
ンドの(公財)コミュニティ未来創造基
金ひろしま(山本一隆代表理事)を
通じて基金を開いた。